

第2章 ストック効果とは

2-1 フロー効果とストック効果

- 私たちの生活を支える、インフラの効果は、フロー効果とストック効果の2つの効果に分けられる。
- フロー効果とは、インフラの整備工事を行うこと自体によって、生産活動の創出⇒雇用の誘発⇒消費の拡大というように、次々に経済活動が創出され、短期的に経済全体を拡大させる効果。
- ストック効果とは、整備されたインフラが機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる効果であり、フロー効果以外の効果であると捉えることができる。
- 具体的には、移動時間の短縮等により経済活動における生産性を向上させる効果、生活環境の改善といった生活の質の向上効果、防災力の向上などの安全・安心効果がある。

<フロー効果とストック効果>



- また、一つの施設の整備が様々なストック効果をもたらすことも多い。
- 企業立地や民間設備投資の促進、観光振興、環境負荷の軽減、災害時のリダンダンシー確保、マーケットの創出・拡大など、多様な効果がストック効果に含まれる。



<ストック効果の類型 (イメージ)>